



第14回 令和5年度  
左官工事PR/  
会員増強/次世代の育成  
貢献者に対する表彰

受賞者活動内容

最優秀賞

左官工事PR部門(団体)  
東京都左官組合連合会 会長 阿嶋 一浩

## 土壁講習会の開催

東京都左官組合連合会では第2回左官伝統工法を見る講習会(土壁編)を開催いたしました。令和4年5月31日に国土交通省が不燃材料としての土壁を官報に告示したことにより、建築基準法の確認申請で建物の内外壁土を切り返し等の土壁あらし仕上げが可能になり、今後、古民家等をリフォームして旅館ホテルに用途変更する、大臣認定の聚楽壁等の既調合塗り材料を使用せずに地場の土を使用した地方色のある建築が可能になるなどの新たな展開が期待される



中、全国の会員はじめ設計士やゼネコンの方々に、あまり扱ったことがない土壁のことを正しくよく理解していただきたいとの思いから企画いたしました。

座学編は「壁土を不燃材料として建築物に用いる場合の壁土仕上げ標準施工要領」を鈴木光日左連技術顧問と不燃材料認定に絶大なる尽力をされました早稲田大学の興石直幸教授が説明、実技編ではカリスマ左官の久住有生氏が卓越した技を披露してから、はじめて土を塗る若年技能者に適切なアドバイスをするという方法により、重要なポイントをよりわかりやすく説明しました。

総参加者数は182名で、内訳は北海道から九州までの道府県連合会員43名、東京会員84名、非会員の設計士やゼネコン等の方々29名でした。



## 講評

第14回令和4年度「左官工事PR」「会員増強」「次世代の育成」「貢献者に対する表彰」に2件の応募をいただきました。「左官工事PR」部門には東京都左官業組合連合会様からの応募をいただき、日本の伝統技術である「土壁仕上げ」「土壁の良さ」の見直し、講習会を開催され、多くの会員さんに再認識をいただけた事。また、設計士・ゼネコン等も参加され、今後の左官工事の広まりに注目されるイベントではないかと評価いたします。

「会員増強」部門には大阪府左官工事組合様からの応募をいただき、「左官のプライド・優良従業員表彰制度」の創設を行い、若年労働者の入職が難しい中、現在頑張っている事業所の職方さんを大切にしたいという気持ちはどこの事業所も一緒ではありますが、一人一人を労う気持ちが伝わってきます。モチベーションが87.5%上がったのは素晴らしい数値だと思います。

委員長 小倉 道生

## 受賞歴

受賞年数/回	部門/受賞者
平成21年度 第1回	左官工事PR(団体) 宮城県左官工業組合連合会青年部 “乗り合いバスを利用した左官PR活動、 会員増強(団体) 宮城県左官工業組合連合会 “会員(新規・再加入)加入促進の取り組み、
平成22年度 第2回	左官工事PR(団体) 大阪府左官工業組合 “キッズプラザでの親子塗り壁体験活動等を通じての左官PR活動、
平成23年度 第3回	左官工事PR(団体) 釧路地方左官業協同組合 “伝統工法・現代工法を融合した左官技術のPRと地域社会への貢献、 次世代の育成(団体) 宮城県左官工業組合連合会 “次世代の育成にマンガでガイド、
平成24年度 第4回	左官工事PR(団体) 新潟県左官同業会 “漆喰塗り工法の復旧への取り組み、 会員増強(団体) 岐阜県左官業組合連合会 “エコポイントで塗り壁普及と組合員増強への取り組み、
平成25年度 第5回	左官工事PR(団体) 最優秀賞 東京都左官職組合連合会 “あらゆる左官PRイベントが一堂に会した「大江戸左官祭り」、 優秀賞 北九州市左官業協同組合 “北九州市制50周年記念事業 左官deエコ「技術の伝承!!」、 入選 大阪府左官工業組合 “出前講座で「左官業の役割」をPR、 次世代の育成(団体) 入選 神奈川県左官業組合連合会 “次世代の育成、
平成26年度 第6回	左官工事PR(個人) 優秀賞 ハマニ株式会社 代表取締役社長 河合 滋 “塗り壁体験会”を通して左官、塗り壁の良さをPR、 会員増強(団体) 最優秀賞 (一社)日本左官業組合連合会 青年部 “着実に会員増強を果たす、 次世代の育成(団体) 入選 大阪府左官工業組合 “「土かべぬり体験実習」等のイベントを青年部を中心に活動、
平成27年度 第7回	左官工事PR(団体) 最優秀賞 東京都左官組合連合会 “子どもたちのものづくりの職業に対する意識が変化したキッズニア東京期間限定イベント、 優秀賞 大阪府左官工業組合 “18団体の後援を得て、「上方左官まつり」を開催、 左官工事PR(個人) 優秀賞 (株)根子左 代表取締役 根子 清 “現代の土壁 樹脂無添加珪藻土壁の普及と後継者育成の為に、 左官工事PR(団体) 入選 静岡県左官業組合 “「児童クラブ」へのもの作りマイスター派遣事業について、 次世代の育成(団体) 茨城県左官工業連合会 “茨城県左官工業連合会青年部の復活と青年部の左官PR活動、
平成28年度 第8回	左官工事PR(団体) 最優秀賞 新潟県左官業共同組合 “ふるさと越後の家づくり事業、 会員増強(団体) 優秀賞 大阪府左官工業組合 “「魅力ある組合づくり」を目指して、 次世代の育成(団体) 入選 福井県左官工業組合 “技能検定3級に挑戦した生徒が左官職に就職する等の効果が現れた工業高校への出前講座、 次世代の育成(個人) 入選 (有)渡辺左官工業 代表取締役 渡邊 洋一 “「茨城県立真壁高等学校へのものづくりマイスター派遣と後継者育成事業について」、
平成29年度 第9回	左官工事PR(個人) 優秀賞 (株)杉本マスター 代表取締役社長 杉本 幸樹 “左官を知らない世代に向けて、
平成30年度 第10回	左官工事PR(団体) 最優秀賞 日本左官業組合連合会 “日左連カレンダー制作事業、 次世代の育成(団体) 優秀賞 神奈川県左官業組合連合会 “若年技能者人材育成支援等事業「かながわ しごと・技能体験フェスタ2018等、
令和元年度 第11回	左官工事PR(団体) 最優秀賞 東京都左官組合連合会 “ものづくり・匠の技の祭典、 次世代の育成(団体) 入選 岐阜県左官業組合連合会
令和2年度 第12回	次世代の育成(団体) 最優秀賞 福島県左官業組合連合会 “左官をPRしながら次世代の育成に繋げる、 次世代の育成(団体) 入選 新潟県左官業協同組合 “建設労働者育成支援事業、
令和3年度 第13回	左官工事PR(団体) 最優秀賞 大阪府左官工業組合 理事長 邑智 保則 “会館まるごとショールーム、
令和4年度 第14回	左官工事PR(団体) 最優秀賞 東京都左官組合連合会 “土壁講習会の開催、 会員増強(団体) 優秀賞 大阪府左官工業組合 “左官プライド ～優良従業員表彰制度の創設～、

優秀賞

会員増強部門(団体)  
大阪府左官工業組合 理事長 北谷 吉弘

## 左官プライド ～優良従業員表彰制度の創設～

### ①優良従業員表彰制度の創設

左官業界では、職人の年齢構成も高齢者が多く、若年者の入職が少ないなど取り巻く雇用環境は年々厳しさを増している。大阪府左官工業組合の傘下事業所では、安定的な新卒採用は厳しく、大半の事業所が通年採用であり職人の出入りも激しい。このような状況下で、業界の労働力確保に向け、職人の仕事への定着化やいつまでも働き続けられるようなモチベーション向上の方策として、表彰制度を検討した。事業所の多くが職人への功績に報いたい表彰制度がない、またあっても運営ノウハウがなく経費負担も大きいことから断念しているのが現状であった。その結果、組合と傘下事業所が一緒になって職人を表彰する「優良従業員表彰制度」を創設した。

### ②事業内容

表彰区分は、勤続表彰や功労者表彰等の4区分とし、それぞれ表彰基準を定め、11月23日に表彰式典を実施し15名を表彰した。被表彰者一人ひとりに組合理事長から表彰状を手渡し、また各所属事業所の代表からも被表彰者の功績やエピソードが披露された。当時の話を懐かしんだり、親方の厳しい中にも愛情を感じたりと思い出に残る表彰式となった。

### ③成果

実施後、事業者からアンケートを取ったところ、受賞された従業員の印象については、モチベーションがあがった、表彰制度が企業内で従業員を大切にしたいという気持ちはどこの事業所も一緒ではありますが、一人一人を労う気持ちが伝わってきます。モチベーションが87.5%上がったのは素晴らしい数値だと思います。



第1条 (目的) この要項は、大阪府左官工業組合の会員企業に勤務する従業員で、永年(わたり)業務に勤め、技術・技能または事務能力が優秀であり、他の従業員の模範となる者を表彰することを目的とする。		
第2条 (表彰区分及び基準) 表彰区分及び基準は次のとおりとする。		
区分	基準	支給時期等
20年勤続表彰	・入社20年で社業が優秀な従業員	・翌年(有給者)
30年勤続表彰	・入社30年で社業が優秀な従業員	・過去5年間に於いて建設業法違反のある者
功 労 者 表 彰	・長年、社業発展に貢献してきた従業員 ・定年退職にあたり、長年企業への功績があった従業員	
優良従業員表彰	・入社10年以上あり、社業に貢献してきた従業員 ・日常の勤務成績が優秀な従業員 ・他の従業員の模範となる者	
第3条 (表彰の推薦) 会員事業所の代表者より、推薦書(別紙)に必要事項を記入の上、組合事務局に提出するものとする。		
第4条 (表彰の決定) 受賞者の決定は、総務委員会が審査した後、理事会において決定する。		
第5条 (表彰の方法) 表彰は、理事長が表彰状及び記念品を授与して行う。		
第6条 (表彰日) 表彰は、毎年11月23日(勤労感謝の日)に行うものとする。		
第7条 この要項に定めるもの他、必要なことについては別に定める。		
付則 この要項は、令和4年4月1日から施行する。		

## 令和5年5月19日 第14回 令和4年度「左官工事PR」「会員増強」「次世代の育成」貢献者に対する表彰

審査委員会		担当副会長	委員
(会員増強・労務対策研究委員会)		伊藤 充隆 (愛知県)	堤 裕也 (大分県)
		委員 長 小倉 道生 (岐阜県)	委員 小野 直樹 (埼玉県)
		副委員 長 足達 弘章 (北海道)	